



# ラーチャブルック ร่ำพญานกข

※「ラーチャブルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

校長 谷口 幸一郎

## 3年ぶりにスタートできた一学期

3年ぶりに4月から始まった学校生活、入学式、標準学力検査、健康診断、水泳授業、現地校との交流学习（オンライン）、新スポーツテスト、クラスマッチ、そして4年生のバンケン浄水場見学など、たくさんの行事が行なわれました。やっと学校に活気が戻ってきた感じがします。一方で学校のコロナ感染者はなかなか収まらず、この一学期間で2割強の子供たちが感染しています。学級閉鎖を行わなければならない学級もありました。まだまだ**予断を許さない状況**にあります。



今日の終業式の「校長の話」では、「**前の自分よりも、分かるようになったり、できるようになったりすることを5個増やすこと**」としました。例えば、「タイ語で自己紹介が言えるようになったり、



タイの文化や習慣が前より分かるようになったり、泳ぐことができるようになる」など、学習だけではなく日常生活にも関わりのあることに関して、5個増やすということです。

子供たちの生きていく時代は、急激な情報化、国際化、高齢化が進み、これまでとは全く異なる社会になると言われています。AIの進化で人のやる仕事をコンピュータがしたり、外国人労働者が行ったりするなど、今の仕事の半分がなくなると言われています。3年前の東京で感じたことは、とても外国人の方が増えたということでした。観光客だけではなく、スーパー等のレジで仕事をしている大半が外国人で、日本語が特に必要な場所を日本人が担当しているという場面をいくつか見ました。日本社会の国際化が急速に進んでいます。

このような世の中だからこそ、これからの子供たちに求められている力は、多岐にわたります。「**何ができるのか、何が分かっているのか**」そしてこれらのことを「**どのように使うことができるのか**」がペースに置かれます。いずれにしても、何か専門的な知識や技能を身に付けることが重要になってきます。外国の人に負けないような力をつける必要があります。そのような思いから、「前の自分よりも、分かるようになったり、できるようになったりすることを5個増やすこと」と、子供たちに話をしました。

明日から夏休みです。日本に比べて若干短い期間ではありますが、**日頃できないことを是非、やらせてみてください**。始業式のときに「何ができるようになりましたか」と、子供たちに尋ねてみたいと思います。

## 新たな取組

赴任してから本校の課題の一つに「**小中連携**」があります。本校は日本人学校として世界一の児童生徒数を誇っています。その反面、人数が多いことにより、1年たっても同じ学年の子供同士がなかなか知り合えない、小学部と中学部ではなかなか一緒に活動ができないなどの課題があります。そのような中、7月4日の全校集会の中で、中学部生徒会長の田中さんが全体に向かって以下のように話をしてくれました。

★皆さんおはようございます！ 中学部生徒会長の田中陽菜です。

いきなりですが、中学部には毎年、これを今年には頑張ろう！と決めた「生徒会スローガン」と呼ばれる目標があります。ではここで問題です。今年度の生徒会スローガンは何でしょう？ 今年度のスローガンは「ONE STEP!～進化し続ける毎日を～」です。ONE STEP を日本語にすると「一歩」という意味になります。



去年、一昨年はコロナウイルスの影響で長い間学校に来ることができませんでしたが、今年からは4月からみんなで学校に来ることができるようになりました。

そこで、みんなで一歩ずつ前に進もう！という気持ちを込めてこのスローガンを考えました。今、中学部はこの目標に向かって生徒会や委員会の活動や学校行事などを頑張っています。

4月からの様々な活動を通して、「もっと他学年と交流したい」や「小学部と交流したい」という気持ちをもつ中学生が増えてきました。中には、小学生と一緒にイベントを行ってみたい、小中で委員会活動をしてみたいなどの意見もあります。

コロナウイルスの状況を見ながらにはなりますが、みんなの意見を踏まえ、新しい取組の一つとして生徒会は、今、小学部と中学部で何かを一緒にできないかを考えています。

そこで、皆さんにお願いがあります。

5、6年生と中学部の皆さん、ぜひ委員会などで小・中で協力してできそうなアイデアを考えてほしいです。1年生から4年生の皆さん、みんなで一緒にやるときはぜひみんなの力を貸してください！ **小学部、中学部みんなで力を合わせて、次なる一歩 ONE STEP を踏み出しましょう！★**

田中さん、いや生徒会がこのような意識でいてくれることをとてもうれしく思うと同時に学校としての一体感が増すのではないかと感じています。また、小学校においても学年を超えた活動「縦割り班」活動を実施しています。これがさらに広がって、中学校と一緒に活動になってくれるのではないかと期待しているところです。

## イマージョン

年度初めのお便りでお知らせしていましたが、本年度、本校ではイマージョン教育を実践していきます。（イマージョンとは教科の授業を外国語を使って教えることです。）**その第一歩を4年生のクラスで行いました。**もちろんこれまでも学級単位ごとに行っているクラスもありましたが、今回は校内で提供授業ということで、NETをはじめ管理職、教務、研修係などたくさんの教員が授業の在り方を探りました。**特に担当のNETとは綿密に連携を**図りながら行いました。



特別活動の時間を使って、野菜を使った料理を紹介する形で行いました。子供たちは英語での説明も活動にも積極的に参加していました。今後、他の教科でも英語を使った授業を展開していこうという計画です。今回、4年生での実施でしたが、他の学年でも実践していく予定になっています。

## コロナの感染が収まりません。

本校におけるコロナの感染者数は本年度になり、既に**500人を超えています**。感染予防対策をしっかりとるよう学校でも気を付けているのですが、家庭内での**感染予防も再度、徹底する**ようお願いいたします。旅行されたり、日本に一時帰国したりする際、細心の注意を払うようお願いいたします。（日本でも感染者の拡大が続いています。）